2025 年全国両会で全人代代表等から提出された知的財産権関連の議案等の一部紹介

2025 年 3 月 12 日
JETRO 香港事務所

2025 年 3 月 4～5 日に、第 14 期全国人民代表大会第 3 回会議（第十四届全国人民代表大会第三次会议[1]）と全国人民政治協商会議第 14 期第 3 回会議（政协第十四届全国委员会第三次会议）が北京で相次いで開幕した。

両会で示された知的財産権に関する議案及び提案の一部を以下で紹介する[2]。

- 国産ブランドの知財権保護の強化。知財権の重要性に対する国民の意識向上や PF 責任強化など。［全人代代表 Erdos Group（鄂尔多斯集团）総裁 王臻氏］
- 知財人材の育成強化に向けた産業知識産権学院を建設。［全人代代表 中国科学院大学知的財産権学院院長 马一德氏］
- 検察機関において案件を処理する専門チームの設置。［全人代代表等 齐玉祥氏］
- 悪意のある著名商標の抜け駆け登録に対するブラックリスト制度の設立。［全人代代表等 阎建国氏］
- 世界トップクラスの紡績・アパレル産業クラスターの建設と商標制度の革新。例えばコンセント制度の導入など。［全人代代表 张江平氏］
- 医薬品の特許期間の補償に「輸出免除」の追加[3]。［全人代代表等 陳宝華氏］
- 科学技術型企業の資金調達難の緩和に向けた知財担保融資の推進。例えば、融資対象拡大や登録方法の統一、全国統一 PF の構築など。［全人代代表等 孙东明氏］
- 中国医薬の知財権保護の強化。［全人代代表 好医生集団董事長 耿福能氏］
- フォントの著作権保護行動の標準化。例えば、許諾範囲やフェアユース範囲・条件の明示、調停機構の設立、業界規範の確立など。［全人代代表等 薛吉平氏］
- 専利権付与異議申立て手続きの導入。［全人代代表等 廖增太氏］
- 知財紛争の実質的解消と「内巻き式」競争[4]の整備。［全人代代表 中国科学院大学

1 ［ウェブサイト］http://www.npc.gov.cn/npc/dbdh14j1c/14j1cdbdh.shtml
2 ［ソース］https://mp.weixin.qq.com/s/3IKEzO4rWVuarpYW_kWsLQ
3 専利法第 42 条第 4 項に、「輸出免除」、すなわち、医薬品の専利権の延長期間において、輸出目的または最終的に輸出を目的とした原材料や製剤の研究開発、製造、使用、販売、販売の申し出、輸入は、専利権の侵害とならない、という例外規定を設けることを提言。
4 無意味な競争のこと。同氏は、「内巻き式」競争の形態が「価格競争」「人材競争」から「知財権競争」へとエスカレートしており、知財権訴訟が競合他社の特定業界への参入を阻止する手段

知識産権学院院長 马一德氏］

- 「AI 換顔擬声」による違法侵害を強化［全人代代表 雷军氏］
- 著作権法やその他の法令を改正してオリジナルの著作権とプライバシー保護を強化し、生成 AI 動画の普及管理メカニズムを改善。［全人代代表 钟铮氏］
- 知財権証券化の活用や発展。［全人代代表 马新强氏や吴清氏］
- AI 医薬の科学技術成果の転化を加速して産業発展促進。［全人代代表 张伯礼氏］
- 企業研究所の「技術産業化率」「成果転化収益」等の評価指標の重みづけを強化。［全人代代表 Hisense（海信集团）董事長 贾少谦氏］
- 科学技術成果の移転・転化の更なる促進。［全人代代表等 王麒氏や马晖玲氏］
- グリーン専利の転化運用を推進。［全人代代表等 傅国涛氏］
- データ財産権などの新分野の規則改善に注力し、知財権の知能化評価などの専門サービスを開発。［全人代代表 清華大学国家金融研究院院長 田轩氏］
- 海外進出企業向けに知財保護の綿密なネットワーク構築［全人代代表 王学峰氏］
- 知財権紛争における多様な紛争解決メカニズム構築。［全国政協委員 夏先鹏氏］
- 技術秘密の保護強化。［全国政協委員 牛同旭氏］
- 国家知財権保護模範区の建設加速。［全国政協委員 洪明基氏］
- PF による積極的な著作権保護管理。［全国政協委員等 张颐武氏］
- 電子商取引の独占的な商行為の規制。［全国政協委員等 郁瑞芬氏］
- 大学や研究所に成果転化専門人材や資源を配備。［全国政協委員等 司徒国海氏］
- 専利の質向上のため出願前専利評価システム構築。［全国政協委員等 丁时勇氏］

また、全国政協委員でもある CNIPA の申局長は、「CNIPA は人工知能知的財産権の保護をさらに強化し、人工知能大型モデル分野の特許プールの構築を推進し、人工知能企業の革新的発展を支援する」とも述べた[5]。

なお、CNIPA の発表[6]によれば、2024 年に CNIPA が請け負った両会提出提案は 222 件で前年比 30.6%増であり、CNIPA は、産学研協力と知財転化を推進し、知的財産権による産業の発展と企業のイノベーションへの貢献、知的財産権担保融資の拡充と質向上などの観点から、11 の具体的な提案を整理したと説明されている。(以上)

として利用され、知財権を悪用して競争を阻害するという問題が生じているとコメント。

5 ［ウェブサイト］https://www.cnipa.gov.cn/art/2025/3/8/art_53_198117.html

6 ［ウェブサイト］https://www.cnipa.gov.cn/art/2025/2/28/art_3493_197838.html